

「家がいいね」 第66号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2009. 11. 9

苦しみの日々
哀しみの日々
それはひとを少しは深くするだろう
わずか五ミリぐらいではあろうけれど

さなかには心臓も凍結
息をするのさえ難しいほどだが

なんとか通り抜けたとき 初めて気付く
あれはみずからを養うに足る時間であったと

少しずつ 少しずつ深くなってゆけば
やがては解るようになるだろう

人の痛みも ざくろ（柘榴）のような傷口も
わかったとてどうなるものでもないけれど

（わからないよりはいいだろう）

苦しみに負けて

哀しみにひしがれて

とげとげのサボテンと化してしまつのは
ごめんである

受けとめるしかない

折々の小さな刺（とげ）や病（やまい）でさえも
はしゃぎや 浮かれのなかには
自己省察の要素は皆無なのだから

茨木のり子 詩集「寄りかからず」より

その気配を受けとめる

縁に導かれて、内宮神嘗祭
の参拜に加われることになつた。
夜の森の中、忌火屋殿前で
じっと待つ。闇が感覚を研ぐ。
準備の炎を見つめ、祭主の
列を待つ。正殿にお入りに
なった後に幽かな光が揺らぎ、
雅楽を遠く聴く。ああ普段の
参拜では建物だけを拝んでいた
のだと思ひ当った。

（写真は神宮司庁ホームページから引用）



なに「」のおはしますかはしらねども

かたじけなきになみだこぼるる

西行

エンド・オブ・ライフを考える

11月7、8日、名古屋で「死の臨床研究会」に参加しました。死の前後だけを見つめるのではなく、生活の中で、ずっと関わりを持ち続ける事に、ここで会う医師たちは考えを移しています。生命からのちへの思いを動かしてきたのは、やはり市民だといふ会でも感じました。



医療費の還付の準備をして下さいね

少し早いかも知れませんが、生命保険の年間支払額の証明書が届き始めています。（こちらは、給与の年末調整に使われます）そろそろ家族全体の領収書（病院・薬局・介護サービス）も整理し始めてはいかがでしょうか。年間10万円を超えた分の税金が少し戻りますが、一番収入の多い（つまり税金を多く払っている）人が申請すると得です。通院タクシー代やオムツ代も関係します。介護用のオムツであることは当院でも証明します。

今までは、医療保険の自己負担金のみ還付で、介護保険の負担金は戻りませんでした。新しく「合算した高額療養費の制度」が始まっています。ややこしい制度で、8月からの1年間での計算になるのですが、本年度のみ遡れる期間があるようです。詳しい相談は仲介しますのでお聞き下さい。

年末年始のお休みですが、

12月28日（月）までは平常どおり

29日（火）～1月3日（日）休診

新年1月4日（月）からは平常どおり

この間も訪問患者さんへは24時間対応です



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>